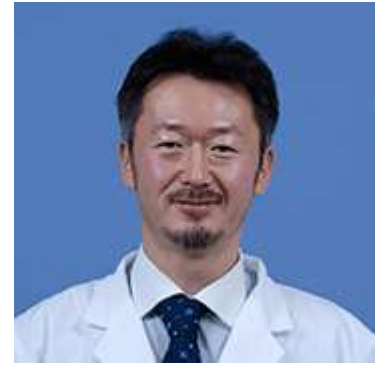


# 2021年4月より てんかんセンター 失神／一過性意識消失外来を開設

一過性意識消失を経験する方は多く、半分以上の人は人生において一度は意識消失を経験することがある、と言われていています。しかし症状は一過性であって、今は全く問題ないのでそのまま様子を見てしまう場合や、そもそも一過性意識障害で受診すべき科がわかりにくいということもあり放置されがちなのではないか、と考えています。

てんかん診療を浜松で長らく続けさせていただいた経験において、実臨床ではてんかんと失神を迷うことが何度もありました。その都度、一人の患者さんを循環器医師とてんかん専門医の双方からアプローチする、という方針をとり集めたデータから解析を行い、てんかん研究に論文として報告いたしました。



てんかん科部長  
 てんかんセンター  
 副センター長  
**藤本 礼尚**  
 (フジモト アヤタカ)

報告した内容は

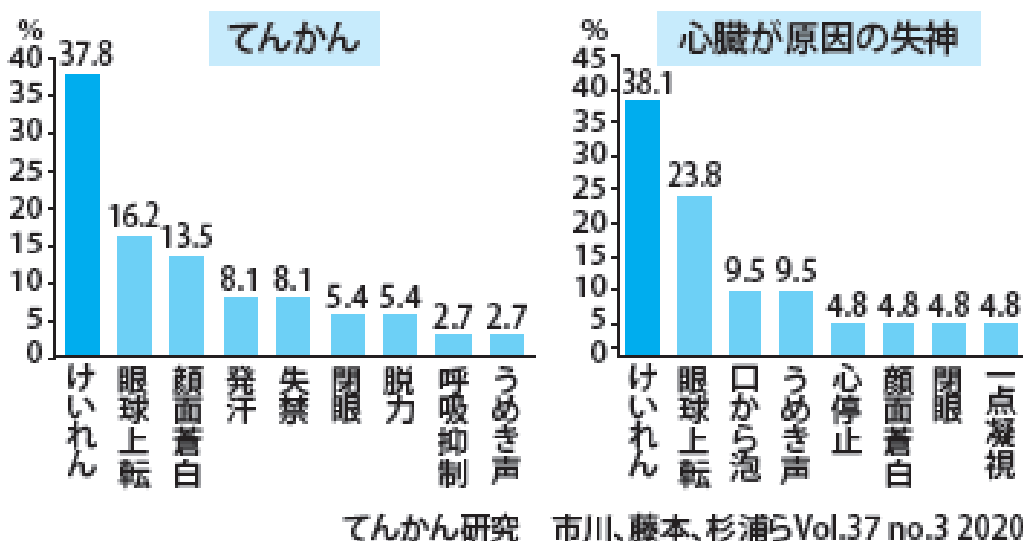
- ・一般に一過性意識消失においてはその割合はてんかん、失神、心因性の3つの病態で90%を占める
- ・我々のデータにおいてはてんかんにのみ失神にも「痙攣」が最も多い症状であった
- ・失神には必ず前兆があるが、てんかん・心因性は必ずしも前兆を伴わない
- ・立位、座位、運動時、安静時など状況も問診としては大事であるが、明らかな特徴が状況から得られるという訳ではない
- ・そのため、てんかん性症状なのか失神による症状なのかは、痙攣があれば大きな強直性発作はてんかんの可能性が高く、小さな震えは失神の可能性が高い

という結論でした。

今回**失神／一過性意識消失外来**において、**てんかん専門医と循環器専門医が脳と心臓からのアプローチ**を行う、という窓口を設けたので、今までどこに受診すればよいのかわからない、という状況が解消されるかと存じます。



## 症状



てんかん（脳が原因；左）においても失神（心臓が原因；右）においても、**痙攣が一番見られる症状**です。

**てんかん性**の場合は筋強直が強く全身性強直痙攣を起こします。一方、**失神**における痙攣は**細かな震え**が通常です。

症状は慌てず、恐れず、冷静に対応しつつ、しっかりと観察していただくと診断に非常に役立ちます。

ポイントとしては筋肉の固さ以外にも顔色、汗、目は開いていたのか閉じていたのか、倒れ方はもたれかかるように倒れたのか地面に飛び込むが如く倒れたのか、など細かく観察していただいた内容を、診察時にまとめてぜひご報告いただければと存じます。

**失神／一過性意識消失外来は  
毎週月曜日午前**

是非、貴社にてご紹介いただければ幸いに存じます。貴紙で取り上げて頂けるようでしたら、予め前日までに下記連絡先へご一報いただけましたら幸いです。よろしく願いいたします。

【問い合わせ先】聖隷浜松病院 学術広報室 望月・太田 TEL053-474-2753・FAX053-474-2763

# 2021年4月より 形成外科 口蓋口唇裂外来 を開設

口唇口蓋裂の診療では、**整容性（見た目）**を綺麗にすると同時に、**言葉をしっかりと話すことができるようにし、歯並びもそろえていく**ことを目標にしています。このためには、一つの科だけではなく、複数の科で協力して診療していく必要があります。形成外科では4月より新たに**口唇口蓋裂外来**を開設いたしました。

聖隷浜松病院での口唇口蓋裂治療の特徴は、**①総合力を生かしたチーム医療、②発育に応じた一貫治療、③形へのこだわり**にあります。

## ＊当院の口唇口蓋裂治療の特徴

### 総合力を生かした チーム医療

口唇口蓋裂の治療は、主に形成外科・矯正歯科・言語リハビリのチームで行います。口唇口蓋裂に関わる全ての治療を当院で行うことが可能ですが、ご自宅の近くでの診療やリハビリを希望される場合はご紹介も可能です。

### 発育に応じた一貫治療

口唇口蓋裂では、他のさまざまな病気の治療が、同時に必要になることがあります。また、治療は長期にわたるため、発育に応じて、さまざまな診療科の関わりが必要です。当院では新生児科・小児科・耳鼻科などの関連各科と連携していきます。

### 形へのこだわり

形成外科では、形にこだわった治療を行います。ただ綺麗にするだけでなく、「成長を損なわない手術」「個性を活かすことができる手術」そして「悩みによりそった手術」をこころがけています。成人までに、ハンディキャップを感じずに暮らしていけることを目標に、治療を進めていきます。また成人した後も相談の窓口となれるよう、当院で治療歴のある方は、引き続き予約していただくことが可能です。

## ＊患者の会（準備中のためしばらくお待ちください）

口唇口蓋裂の子供たちやそのご両親が、交流を深めて情報共有ができるような患者会を作るように現在準備中です。コロナ感染に配慮した形での会のあり方を検討し、受診された皆様にご案内していく予定です。

## ＊当院受診を希望される皆様へ

聖隷浜松病院形成外科 口唇口蓋裂外来は、毎週金曜日の午前中に外来を行っています。

**生まれたばかりの赤ちゃんから、以前に口唇口蓋裂の治療を受けて治療を希望される成人まで、幅広く診療します。**

## ＊担当医師



形成外科 部長  
 雑賀 厚臣（サイガ アツオミ）

口唇口蓋裂の診療を担当する、形成外科部長の雑賀です。これまで、300人以上の口唇口蓋裂患者さんの治療を担当してきました。なるべく少ない手術回数で、効果的な治療ができるように心がけています。

## <形成外科 外来予定表>

※角谷医師は不定期・予約制です。

	月	火	水	木	金
午前	向田 雑賀 西岡	交替制	大嶋	西岡	<b>口唇口蓋裂 外来</b> 山田 角谷※
午後	リンパ 浮腫外来 山田	角谷※	大嶋		山田

是非、貴社にてご紹介いただければ幸いに存じます。貴紙で取り上げて頂けるようでしたら、予め前日までに下記連絡先へご一報いただけましたら幸いです。よろしくお願いたします。

【問い合わせ先】聖隷浜松病院 学術広報室 望月・太田 TEL053-474-2753・FAX053-474-2763